

I 教育目標	
◎自ら学ぶ子(重点目標) ○思いやりのある子 ○体をきたえる元気な子	
II 経営方針	
目指す学校像	<p>みんなでつくる「笑顔」あふれる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の「笑顔」…毎日笑顔で通える学校 ○ 保護者の「笑顔」…安心して子どもを託せる学校 ○ 地域の「笑顔」…ともに歩み親しみのある学校 ○ 教職員の「笑顔」…誇りをもち、やりがいのある学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自ら学ぶ子 <ul style="list-style-type: none"> ・ すすんで課題に取り組み、主体的に学ぶ子 ・ 自分と他者の考えを大切に自分の考えを深める子 ・ 自分の考えを分かりやすく表現できる子 ○ 思いやりのある子 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の生命や個性を尊重し、互いに励まし合い、協力し合い、助け合う子 ・ 4つの「あ」(あいさつ、あつまり、あんぜん、あとしまつ)を実践する子 ・ 規範意識を高め、礼儀を身に付ける子 ○ 体をきたえる元気な子 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの心身の健康に関心をもち、規則正しい生活をする子 ・ 運動に親しみ、体力を高めようとする子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職層に応じた責務を自覚し、課題の解決に向け全力を尽くす教師 【主幹教諭】学校経営計画の実現に向けて、副校長との連携を密に取りながら補佐し、教職員の育成を図る主幹教諭。 【主任教諭】主幹教諭を補佐し、同僚や若手教員に対して日常的に適切な助言・支援を行う主任教諭。 【教諭】教育のプロとして教職経験年数に応じた授業力を身に付けるために努力する教諭。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業力向上のために、主体的に OJT、OFF-JT、自己啓発に取り組む力 2. 人権感覚を身に付け、子どもの豊かな心や規範意識を育む生活指導の力 3. 組織の中の人として、学校の教育課題の解決に向け、全力を尽くす組織貢献力 4. 積極的に保護者、地域、外部機関との連携をし、協働する力 【養護教諭】温かい保健室経営をし、確実な健康管理と健康教育に努める養護教諭 【事務職員】予算計画に基づき、迅速・的確・適正に予算執行するとともに、学校の課題に応じて柔軟な予算運用を図ることができる事務職員 【栄養士】安全・安心でおいしくバランスのとれた給食計画を立案・実施できる栄養士 【講師・学習支援員等】関係学年・学級の教員と連携して、与えられた職務を確実に果たす講師・学習支援員等 ○ 児童理解に努め、確かな学力・体力・健全な心を育むことができる教師 ○ 児童の心をつかみ、生命、人権を尊重する人間性豊かな教師 ○ 児童の変容を目指し、向上心をもって学び合える教師
経営理念	<p>「すべては子どもたちのために」を学校経営の理念として、学校経営計画の実現に向けて、全教職員がチーム東川小で共通理解・共通実践で協働し、児童に向き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の児童、笑顔を大切にする。 <ul style="list-style-type: none"> ← 子ども基本法、江東区こどもの権利に関する条例、Action 2 4、COCOLOプラン、確かな児童理解と家庭との連携、支持的風土の醸成、授業力の向上 ○ 学校を守る。(児童の命・人権を守る 安心・安全を第一に考える) <ul style="list-style-type: none"> ← いじめ防止対策の徹底、道徳授業の充実、危機管理能力の向上、服務事故0の徹底、コミュニティスクールとして地域との連携強化 ○ よりよい学校をつくる。(常に「子どものためになるか」を評価基準とする) <ul style="list-style-type: none"> ← 教育推進プラン江東(第3期)の反映、学校評価(児童・保護者・地域・教職員)による改善、子ども基本法の「こどもまんなか」の理念

Ⅲ 経営目標

重点領域1		確かな学力の向上 自ら学ぶ子の育成
中期経営目標	主体的に学ぶ姿、他者と共に学ぶ姿を定着させた児童の育成を目指す。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「東川小授業スタイル」で、特に、「I」と「合い」のある授業を全職員で行う。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、課題解決型の授業を行い、授業改善を推進する。 ・校内研究の中心教科である、社会科・生活科、道徳についての授業交流を進める。 	
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)
1	学年会での打ち合わせで週案を活用して教育活動の計画性を高め、児童に見通しをもたせて学習に取り組ませるようにする。特に、漢字や計算の基礎力定着のための学習の時間を位置づけて取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・「『こうとう学び方スタンダード』が定着している」児童90%以上を目指す。 ・各学年の漢字や計算の習得80%以上の児童が9割以上を目指す。
2	校内研究で取り上げる社会科・生活科を中心に、単元の学習計画を児童と立て、一時間ごとのねらいがはっきりした授業を目指すとともに、児童が自ら関わろうとする「I」のある学びを目指す	「日常の授業において、主体的に学ぶことができた」児童90%以上を目指す。
3	協働的な学習、「合い」のある学びのために、単元計画や一時間の授業の中に、交流の時間を位置付けた授業展開をする。	「日常の授業において、話し合ったり、協力したり、教えあったりして、友達と関わりながら学ぶことができた」児童を90%以上にする。

重点領域2		豊かな心と素直で思いやりのある子の育成
中期経営目標	自他の生命や個性を尊重し、互いに認め合い、励まし合える児童の育成を目指す。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支持的風土の、「愛」のある温かい学年・学級・専科経営を実施し、思いやりの心を育てる指導を通し、いじめ等の問題行動を未然に防止する。 ・すすんで、4つの「あ」（あいさつ、あつまり、あんぜん、あとかたづけ）を実践する児童を育てる。 ・交流活動等を通して、共生社会の一員としての人間性、社会性を育む指導を充実させる。 	
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)
1	WEBQU を活用して、児童の状況把握に努めるとともに、「愛」のある温かい学級経営を意識し、自己肯定感、自己有用感を持たせる関わり方をする。	「自分にはよいところがあると思う」児童90%以上にする。
2	教育活動全般において、人権教育、道徳教育の充実を図ることで、笑顔あふれる学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「だ・い・じ（誰にでも、いつでも、自分から）を心がけ、気持ちの良い挨拶をしている児童」90%以上にする。 ・「笑顔あふれる学校や学級にするために、友達と協力したり、努力したりすることができた」児童を90%以上にする。
3	いじめ防止対策の取り組みを全職員で徹底をするとともに、生活指導夕会の記録、いじめ対応の記録シート、保健室での相談記録など、引き継ぎのため、各事例の記録をしっかり残し、全体共有も徹底する。	「いじめはどんなことがあっても絶対にはいけないと思う」児童100%以上を目指す。

重点領域3		体力の向上、健康の保持増進 体をきたえる元気な子の育成
中期経営目標	心身の健康に関心を高め、運動に親しむ児童の育成を目指す。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力スタンダード」を確実に実施し、運動に親しむこどもを育成する。 ・体力を高めるための指導の工夫・改善を図る。 ・家庭と連携し、基本的生活習慣の定着を図る。 	
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)
1	体育の授業で十分な運動量を確保することや外遊びの奨励により、運動の日常化を図る。	「日常的に外遊びする」児童、および、「体育の授業が好き」な児童を90%以上にする。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの確立や健康の保持について児童の意識を高めさせるとともに、家庭との連携を図る。 ・栄養士による食育指導や養護教諭による健康への意識付けの指導を実施する。 	「自分の健康について考えるとともに、健康のために自分にできることを努力した」児童を90%以上にする。
---	---	--

重点領域4		地域とともに目指す 安心・安全な子どもの居場所となる学校づくり
中期経営目標	コミュニティスクールとして、地域との連携をさらに深かめ、学習支援や防災体制の強化を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に応じた危機管理能力を身に付ける指導を行う。 ・「地域とのつながりを大切にする学校」の姿を、教職員、児童、保護者、地域に投げかけ、具現化のための方策や内容を精査する。 ・地域・保護者との連携のために、HPや「すぐーる」で学校の情報を丁寧に発信する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子ども側）
1	避難訓練、不審者対応防犯訓練、交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室、自転車教室などの実施を通して、児童の意識を高め、日常での生活に生かせるようにする。	「校内外での、安全な過ごし方や遊び方について自分で意識をして気を付けた」児童を100%にする。
2	「地域とのつながりを大切にする学校」について、長い伝統を大切にしながら、その意義について道徳やその他の教科指導、特別活動などを通して、児童に投げかけ、意識の向上を図る。	「ゲストティーチャーの授業や地域に関わる授業、自分のためになった」児童90%以上を目指す。